

地域の漁師と連携し日本海産の海藻・魚介類を乾燥加工して販売。作業請負から水産加工品製造・販売への転換で工賃向上を実現。製品化までの全工程に障害者が携わることで自身の充実感・達成感も向上。

福祉事業所

鳥取県
米子市



基本情報

設立:H23年/農福連携取組開始:H23年

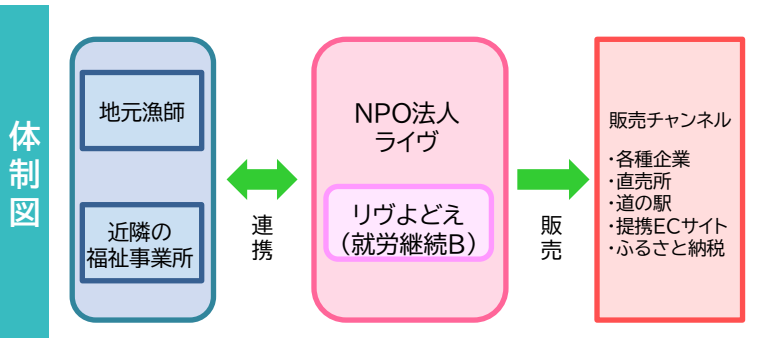
概要

主力商品

(水産加工品)板わかめ、乾燥ひじき、乾燥ホタルイカ

特徴的な取組

水福連携



TEL:0859-56-5789/Mail:info@live-y.jp

URL:https://live-y.jp

取組

きっかけ

H23年

利用者の能力を生かせる仕事がないかと探していた時、地元の漁業者からわかめ干し作業を手伝って欲しいと依頼があり海藻を乾燥加工する水福連携の活動を開始。

人を耕す

● 開始当初はわかめ干し作業の請負作業が売上の中心だったものを、自分たちで行う水産加工品の製造・販売にシフトすることで売上高が100倍以上に増加。

● 様々な決め事に際して職員が利用者に伝えるだけでなく、随時ミーティングを開き、今している作業は何のための作業なのかを説明してもらうことで自主性を育成。

地域を耕す

● 主力商品の「板わかめ」は山陰地方の名産であるが、製造所が減少しており、地域の漁業者から製造方法を教えてもらうことで、地域の食文化の継承に寄与。

● 地域の漁協からの提案をきっかけに、地域で初めて採れるようになったひじきを原料にした新商品「乾燥ひじき」を開発し、販売を開始するなど地域水産業の維持に貢献。

未来を耕す

● 添加物を一切使用せず、素材の風味を大切に商品づくりを実施。

● 新設した水産加工施設では、他の福祉事業所の利用者に、水産加工作業の一部を委託することで、連携する事業所数を増やし、水福連携の輪を拡大。

成果

平均工賃月額	水産加工に関わる障害者数	売上高	—
15,700円(H23) →29,054円(R5)	6人(H23) →23人(R5)	8万円(H23) →851万円(R5)	

● 職員のサポートなしで完全に製造を任せることのできる利用者もあり、県平均を大きく上回る月5万円以上の工賃を実現。

● 地域の奉仕作業への参加や、特別支援学校や中学校等の職業体験の受入れ等により、地域との交流や活性化に寄与。

● 水福連携の取組が地域の新聞やニュースで掲載。